

第27回 画像センシングシンポジウム

The 27th Symposium on Sensing via Image Information
(SSII2021)

発表募集 <http://ssii.jp/>

会期：2021年6月9日(水)～11日(金)

会場：オンライン開催

発表応募期限： 2021年 3月 1日(月)
採否決定通知： 2021年 3月 15日(月)
カメラレディ原稿提出期限：2021年 4月 22日(木)

応募原稿：A4サイズ1ページから8ページ
カメラレディ原稿：A4サイズ2ページから8ページ

『新しい時代の産学連創』

【SSII2021での発表をおすすめする理由】

■100件超の研究発表×2,000名超の参加者

- 研究成果を広く効率的に普及
- 多数の参加者からの意見収集・
研究議論・産業とのマッチングが可能！
- 全ての発表は各賞の候補に

ごあいさつ

SSII2021実行委員長：梅田 和昇(中央大学)

第27回画像センシングシンポジウム(SSII2021)の研究発表を募集いたします。本シンポジウムは毎年発展を続け、参加者数を増やしています。前々回SSII2019は1,406名、前回SSII2020はオンライン開催に伴い学生参加を無料としたこともあって大幅増の2,324名(うち学生1,131名)もの方に参加して頂きました。100件強の研究発表に対しこれだけ多くの方が参加されること、また、産業界からの参加が非常に多いことが本シンポジウムの大きな特徴です。発表者の皆様には、貴重な研究成果を広く且つ効率的に普及していただけるだけでなく、産業界・学術界からの多くの参加者に対してご自身をアピールしていただけると共に、ディスカッションを通して今後の研究の方向性をより明確にしていいただけると確信しております。

今回のテーマは「新しい時代の産学連創」としました。「産学連創」は、前回SSII2020のテーマでした。SSIIが、産学が一堂に会して学び、育て、交流することのできる場であり、それをさらに発展させたいという思いが込められた言葉で、2021でも、この「産学連創」を引き続き強く推し進めていきたいと考えています。

一方の「新しい時代」ですが、これは、Withコロナ、Afterコロナを想定しています。SSII含め、学術集会が今後どうなっていくのか、まだ分かりません。また、来年の6月時点でのコロナ禍の状況も現段階では何とも言えない訳ですが、SSII2021はオンライン開催とすることを早々に決定いたしました。十分な準備期間を確保し、オンライン開催としてのSSIIの完成度を最大限高めて行く所存です。SSII2019から導入されているスポンサーシップのオンラインでの充実も検討しています。近年深刻な不足傾向にあると言われているAI関連をはじめとした分野の研究者・技術者が数多く集結する場となっていることから、人材と出会う場としての役割も更に強化していきたいと考えています。また、何より、オンラインでの研究発表・議論のしやすさも、更に高めて行きたいと考えています。

皆様の貴重な研究成果を是非SSII2021でご発表いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■本シンポジウムの目指すもの、発表論文の内容

本シンポジウムは、「画像センシング技術」を軸として、機械学習・パターン認識・人工知能(AI)活用技術など、さまざまな分野の方々が集結し、研究発表および議論を行う「良き場」となることを目指しております。

産業界にインパクトを与える先進的な基礎研究や挑戦的な問題提起から、今そこにある実課題への取り組みや、現場での実利用に欠かせないノウハウやエンジニアリングに関する発表まで広く募集いたします。

■インタラクティブ&ショートオーラルセッション

発表者と参加者の自由なコミュニケーションの場を提供するためのインタラクティブ&ショートオーラルセッションを募集いたします。オンライン開催が決定したSSII2021では、オンライン開催の特徴を活かしてシステム実働の様子や技術を実感できるリアリティあふれる発表を積極的に募集しています。

インタラクティブ&ショートオーラルセッションでは、先進的な研究の発表のみならず、実利用を想定したシステムや創造的な工夫、実用化された特許など、大学・研究機関ならびに企業の方からの発表も多数お待ちしております。また、国際会議等で発表された既発表の内容を、SSIIの場で活発に議論したい、多くの方の意見を聞きたい、研究内容を広めたいという発表も歓迎いたします。なお、インタラクティブ&ショートオーラルセッションはSSII学術賞およびSSIIオーディエンス賞の選考対象となります。

SSIIでは2007年以降、発表者と参加者がインタラクティブに議論することが、皆が集結する会議の本質であるという考えのもと、インタラクティブセッションを最も重視した運営を行って参りました。SSII2020ではコロナ禍におけるインタラクティブな議論の場として、事前録画した動画によるショートオーラルセッションとビデオ会議を利用したインタラクティブセッションを実施しました。SSII2021では前年度の経験・参加者の皆様の声を活かし、よりインタラクティブ性を向上したオンラインならではの実施形式を企画しております。

インタラクティブ&ショートオーラルセッションの実施形式については、詳細が決まり次第、SSIIのHPにて公開していく予定です。

■応募方法・審査とカメラレディ原稿

発表応募およびカメラレディ原稿は、Webサイト(<http://ssii.jp/>)で受け付けます。発表内容をA4サイズ1ページから8ページにまとめた応募原稿をご提出ください。書式ファイルはWebサイトからダウンロードできます。

ご提出いただいた応募書類をもとに査読を行い、採否を決定します。応募要領・査読の詳細はWebサイトをご覧ください。

採録されましたご発表については、A4サイズ2ページから8ページのカメラレディ原稿をご提出いただきます。また、オンライン開催に伴いご提出していただく発表資料については詳細が決まり次第、SSIIのHPにて公開していく予定です。

■優秀発表の表彰

SSIIでは発表に対し、以下の表彰を行います。

(1)SSII学術賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、実用性・完成度・社会波及効果・プレゼンテーションなどのインパクトを総合評価し、優秀な技術発表を表彰いたします。

(2)SSIIオーディエンス賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、聴講された参加者皆様の投票をもとに優秀な発表を閉会式で表彰いたします。

(3)画像センシング技術研究会高木賞

SSIIの創始者である故高木幹雄先生のご功績にちなみ、過去のSSIIで発表された研究成果の中から実用化の観点で社会に大きく貢献したものを画像センシング技術研究会高木賞として表彰いたします。募集要項はWebサイトをご覧ください。

■SSII2021についてのお問い合わせ

【画像センシング技術研究会 事務局】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)内
Tel：03-3367-0571 Fax：03-3368-1519 Mail：info@ssii.jp

SSII2021では、その活動にご賛同くださり、ご支援頂けるスポンサーを広く募集しております。詳しくはWebサイト(<http://ssii.jp/>)をご覧ください。また、今年度よりスポンサー企業様と参加者の直接交流の場として、オンラインセミナー、およびスポンサー企業様でのサテライト会場も計画中です。ぜひご検討お願いします。

■チュートリアルセッション

画像センシングに関する基礎理論や実用化が進む注目の技術、今話題のホットな技術について、第一線でご活躍の講師陣にわかりやすく解説いただきます。

■技術動向解説セッション

国際的な研究フィールドでアクティブに活躍されている若手トップ研究者をお招きし、世界最先端の技術研究動向をまとめて一挙に解説いただきます。今まさに世界中が注目している最新技術や押さえておくべき動向を日本語で知ることができるチャンスです。

■オーガナイズドセッション

実応用から基礎まで画像センシングの新しい応用&技術革新について期待が高まるテーマを選びすぎります。

■特別講演

画像センシング関連分野をリードする第一人者をお招きし、技術革新や未来への展望に関するご講演をいただきます。SSII2021では2件の講演を予定しております。ご期待ください。

■参加費

全てのプログラムの聴講が可能な参加プランです。また、特に企業の皆様には好評なグループ登録もご利用いただけます。

- 一般：25,000円 (30,000円)
- 学生 <発表者含む>：無料
- グループ登録：50,000円 (一般のみ、3名分)

※参加費は5月17日までにWebにて事前登録していただいた場合となります。
※5月18日以降のお申し込みにつきましてはカッコ内の金額となります。
※早めのお申し込み手続きをお待ちしております。
詳しくはWebサイトをご覧ください。

■展示会

SSIIの併設展示会である画像センシング展(入場無料)は、例年通りパシフィコ横浜展示ホールで開催いたします。

<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>

また、画像センシング展2021会場で、SSII2021のパブリックビューイングを実施することを計画しています。

■主催：画像センシング技術研究会

会長：青木 義満(慶應義塾大学)

【協賛】(予定) 映像情報メディア学会 応用物理学会 可視化情報学会 画像電子学会 計測自動制御学会 人工知能学会 情報処理学会 精密工学会 電気学会 電子情報通信学会 日本印刷学会 日本顔学会 日本生体医工学学会 日本核医学会 日本機械学会 日本航空宇宙学会 日本材料学会 日本写真学会 日本写真測量学会 日本超音波医学会 日本バーチャリアリティ学会 日本非破壊検査協会 日本リモートセンシング学会 日本ロボ学会 溶接学会 レーザー学会

【協力】(予定) 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 精密工学会 画像応用技術専門委員会 電気学会 非整備環境におけるセンシングとAI技術調査専門委員会

■SSII2021実行委員会

実行委員長：梅田 和昇(中央大学)

◆実行幹事：藤原 孝幸(北海道情報大学)、川西 康友(名古屋大学)、西山 正志(鳥取大学)

◇運営委員会：大山 航(委員長:埼玉工業大学)

◆財務部会：波部 斉(部会長:近畿大学)、西山 正志(副部会長:鳥取大学)、大橋 剛介(顧問:静岡大学)

◆庶務・会場部会：木村 大毅(部会長:IBM東京基礎研究所)、福田 悠人(副部会長:埼玉大学)、中澤 満(顧問:楽天)

◆広報・出版部会：紋野 雄介(部会長(広報):東京工業大学)、久保 尋之(副部会長(広報):東海大学)、白井 啓一郎(顧問(広報):信州大学) 金子 直史(部会長(出版):青山学院大学)、井上 中順(副部会長(出版):東京工業大学)、望月 義彦(顧問(出版):埼玉工業大学)

◆リエゾン部会：中村 克行(部会長:日立製作所)、石井 雅人(副部会長:ソニー)、井尻 善久(顧問:オムロンサイニクエックス)

◇プログラム委員会：入江 豪(委員長:NTT)、山下 隆義(副委員長:中部大学)、安倍 満(副委員長:デンソーアイティラボラトリ)

◆チュートリアルセッション部会：島田 敬士(部会長:九州大学)、青山 秀紀(副部会長:パナソニック)、中村 和晃(大阪大学)、峰松 翼(九州大学)、船富 卓哉(顧問:奈良先端科学技術大学院大学)

◆オーガナイズドセッション部会：佐藤 育郎(部会長:デンソーアイティラボラトリ)、平川 翼(副部会長:中部大学)、大野 健太(Preferred Networks)、井上 勝文(大阪府立大学)、住吉 信一(デンソーアイティラボラトリ)、林 昌希(顧問:慶應義塾大学)

◆インタラクティブ&ショートオーラルセッション部会：小山田 雄仁(部会長:鳥取大学)、片岡 裕雄(副部会長:産業技術総合研究所)、秋月 秀一(顧問:中京大学)

◇表彰小委員会：田中 正行(委員長:東京工業大学・産業技術総合研究所)、千葉 直樹(顧問:KPMG Ignition Tokyo)

■組織委員会

青木 義満(慶應義塾大学)、浮田 浩行(徳島大学)、内田 祐介(Mobility Technologies)、梅田 和昇(中央大学)、奥富 正敏(東京工業大学)、加藤 邦人(岐阜大学)、斎藤 英雄(慶應義塾大学)、佐藤 雄隆(産業技術総合研究所)、塩原 守人(富士通研究所)、清水 毅(山梨大学)、鷺見 和彦(青山学院大学)、諏訪 正樹(オムロンサイニクエックス)、田中 正行(東京工業大学・産業技術総合研究所)、田藤 雅基(パナソニック)、谷口 倫一郎(九州大学)、谷口 恭弘(本田技術研究所)、千葉 直樹(KPMG Ignition Tokyo)、寺田 賢治(徳島大学)、中島 慶人(電力中央研究所)、長原 一(大阪大学)、中村 克行(日立製作所)、庭川 誠(明電舎)、野口 稔(日立ハイテクソリューションズ)、橋本 学(中京大学)、藤吉 弘亘(中部大学)、堀 修(東芝)、満倉 靖恵(慶應義塾大学)、三和田 靖彦(YYCソリューション)、望月 貴裕(日本放送協会)、山下 隆義(中部大学)、横山 敦(京セラ)

名誉顧問：中島 真人(慶應義塾大学)

顧問：興水 大和(中京大学/YYCソリューション)

監事：油田 信一(芝浦工業大学)、久野 義徳(埼玉大学)

第27回 画像センシングシンポジウム The 27th Symposium on Sensing via Image Information

SSII2021

2021年6月9日(水)～11日(金)

オンライン開催

発表募集

Call for Papers

発表応募期限：2021年 3月 1日(月)

採否決定通知：2021年 3月 15日(月)

カメラレディ原稿提出期限：2021年 4月 22日(木)

応募原稿：A4サイズ1ページから8ページ
カメラレディ原稿：A4サイズ2ページから8ページ



<http://ssii.jp/>